

第9回 骨転移フォーラム in Tokyo

日時：2022年 **1月15日** (土) **15:20~18:40**

テーマ：持続可能な骨転移診療体制の確立を目指して
－教育と地域連携を中心に－

本セミナーは、事前登録が必要です。
下の二次元コードを読み込んでいただきますと、事前登録フォームが立ち上がります。
弊社担当者にご一報下さった場合でも、視聴用URLをお送りすることが可能です。
後日、視聴URLをメールにてお送り致します。(zoom配信)



<メールでのお申し込み>

sugawara.mai.cx@daiichisankyo.co.jp

第一三共株式会社 城南第三営業所 菅原 宛

ご視聴時に登録いただきましたご施設名、ご芳名は、
医薬品の適正使用情報および医学・薬学に関する情報提供のために利用させていただくことがございます。
何卒ご理解とご協力を賜ります様、お願い申し上げます。

共催 日本骨転移研究会 ・ 第一三共株式会社

15:20-15:30 製品紹介

「タリージ錠」について 第一三共株式会社

【総合司会】

慶應義塾大学医学部 整形外科学教室 専任講師 中山 ロバート 先生

15:30-15:35 開会の辞

順天堂大学 整形外科・リハビリテーション科・緩和ケアセンター
高木 辰哉 先生

「骨転移診療のこれから」

15:35-16:20 第1部：一般演題（計5演題）発表6分、質疑応答3分（9分）

座長：東京医科歯科大学病院 がん先端治療部・緩和ケア科・整形外科
講師 佐藤 信吾 先生
神戸大学大学院医学研究科 リハビリテーション機能回復学
特命教授 酒井 良忠 先生

「複数の骨転移を伴う骨転移患者のリハビリ前のマネージメント」

国立大学法人岡山大学病院 総合リハビリテーション部 増田 翔太 先生

「子育てと闘病の両立を支えた意識変容と地域連携

－外来抗がん剤治療中に立位困難となった大腸がん多発脊椎転移－
大阪警察病院 リハビリテーション技術科 理学療法士 浪田 真希 先生

「骨転移症例の地域連携」

順天堂大学医学部附属順天堂医院整形外科・スポーツ診療科
長谷川 延彦 先生

座長：国立大学法人岡山大学病院 整形外科 講師 中田 英二 先生
大阪警察病院 脊椎・脊髄センター 副部長 大島 和也 先生

「両側大腿骨転移性骨腫瘍に対して両側髄内釘を施行された一例」

神戸大学医学部附属病院 理学療法士 藤原 克哉 先生

「骨修飾薬投与時の歯科・口腔外科の取り組みと顎骨壊死の診療」

慶應義塾大学医学部歯科・口腔外科学教室 助教 山田 有佳 先生

16:20-16:25 休憩

16:25-17:25 第2部：ミニレクチャー（計3演題） 発表15分、質疑応答5分

座長：慶應義塾大学医学部 整形外科学教室 専任講師 中山ロバート先生

「骨転移診療10年の成果と課題 -がん専門病院の立場から-」

埼玉県立がんセンター 整形外科 科長 五木田 茶舞 先生

座長：埼玉医科大学病院 リハビリテーション科 教授 篠田 裕介 先生

「骨転移診療10年の成果と課題 -大学病院の立場から-」

慶應義塾大学医学部 整形外科学教室 特任助教 山口 さやか 先生

座長：奈良県立医科大学 リハビリテーション医学講座 教授 城戸 顕 先生

「骨転移診療10年の成果と課題 -市中病院の立場から-」

パナソニック健康保険組合 松下記念病院 病院長 村田 博昭 先生

17:25-17:35 休憩

17:35-18:35 第3部：講演（計2演題） 発表25分、質疑応答5分

座長：静岡県立静岡がんセンター 整形外科 部長 片桐 浩久 先生

**「骨転移診療に対する取り組み
個人として、学会として、研究グループとして」**

聖マリアナ医科大学 放射線治療科 教授 中村 直樹 先生

座長：帝京大学医学部 整形外科学講座 主任教授 河野 博隆 先生

**「1.骨転移とがんのリハビリテーション診療
2.がん患者リハビリテーション料 保険収載までのあゆみ」**

慶應義塾大学医学部 リハビリテーション医学教室
教授 辻 哲也 先生

18:35-18:40 閉会の辞

国立病院機構東京医療センター
特命院長補佐・整形外科 科長 森岡 秀夫 先生

「骨転移診療の10年 -見えてきたゴール-」